Panasonic

取扱説明書　基本操作編

デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 DMC-GH3A/DMC-GH3H
DMC-GH3

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(87～92ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本機の使い方や使用上のお願いなど詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 詳細操作編」(PDFファイル)に記載されています。

- パソコンにコピーしてお読みください。コピーのしかたは4ページをお読みください。

保証書別添付

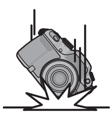
VQT4M41-1
F1012HN1122

目 次

準備

基本

撮る



落下を防ぐために

ショルダーストラップを取り付けてからお使いください。

● ショルダーストラップの取り付け方は、12 ページをお読みください。

Wi-Fi

他の機器との接続

その他

取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）を読む

本機操作の詳細については、CD-ROM（付属）の「取扱説明書 詳細操作編」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

■ Windowsの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

2 インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書] をクリックする

3 [日本語] が選ばれている状態で、[取扱説明書] をクリックしてコピーする

4 デスクトップの [取扱説明書] のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

■ 取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）が開けないときは

取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）を閲覧･印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM（付属）を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。
（対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7）

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。
  http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/

■ 取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）をアンインストールするには

"Program Files￥Panasonic￥Lumix￥" フォルダー内のPDFファイルを削除してください。

■ Macの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

2 CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く
- 「Manual」フォルダーがもう一度表示されます。

3 表示された「Manual」フォルダーを開き、言語フォルダーの中の PDF ファイルをコピーする

4 PDFファイルをダブルクリックして開く

「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  – 本機を落とす、またはぶつける
  – レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防塵防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防塵防滴性能を満足させるには、以下のことにお気をつけください。

– **防塵防滴対応の当社製交換レンズを取り付けてお使いください。**防塵防滴非対応の交換レンズや、マウントアダプター(別売:DMW-MA1)使用時は、防塵防滴構造になりません。
– **内蔵フラッシュは、閉じてお使いください。**
– **本機の扉部、端子キャップ、接点カバーなどは、しっかりと閉じてください。**
– レンズやキャップの取り付け、取り外し、扉の開閉時は、砂やほこり、水滴などが内部に侵入しないようにお気をつけください。
– 水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。
センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ 露付きについて(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

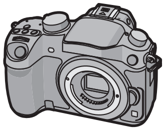
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P78)

同梱品

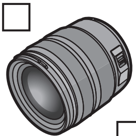


デジタルカメラボディ
（本文中では**本体**と表記します）

付属品をご確認ください。 
記載の品番は2012年10月現在のものです。変更されることがあります。

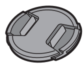
DMC-GH3A（レンズキット商品）に同梱

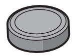
- **DMC-GH3A に同梱の交換レンズ（H-HS12035）は、防塵防滴対応です。**

□ 

交換レンズ（H-HS12035）
LUMIX G X VARIO 12–35 mm/F2.8 ASPH./POWER O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します）

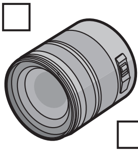
□ 
レンズフード
VYC1084

□ 
レンズキャップ※
VYF3480

□ 
レンズリアキャップ※
VFC4605

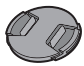
DMC-GH3H（レンズキット商品）に同梱

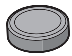
- **DMC-GH3H に同梱の交換レンズ（H-VS014140）は、防塵防滴非対応です。**

□ 

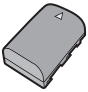
交換レンズ（H-VS014140）
LUMIX G VARIO HD 14–140 mm/F4.0–5.8 ASPH./MEGA O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します）

□ 
レンズフード
VYC0997

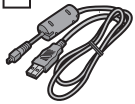
□ 
レンズキャップ※
VYF3250

□ 
レンズリアキャップ※
VFC4315

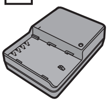
※お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

☐ 

バッテリーパック
DMW-BLF19
（本文中では**バッテリー**と表記します）
- 充電してからお使いください。

☐ 

USB 接続ケーブル
K1HY08YY0025

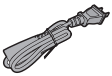
☐ 

バッテリーチャージャー
DMW-BTC10
（本文中では**チャージャー**と表記します）

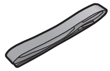
☐ 

CD-ROM
- ソフトウェア
- 取扱説明書 詳細操作編

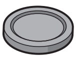
（パソコンにインストールしてお使いください）

☐ 

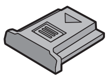
電源コード
K2CA2YY00247

☐ 

ショルダーストラップ
VFC4908

☐ 

ボディキャップ
VKF4971
（お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

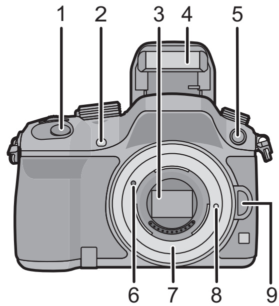
☐ 

ホットシューカバー
VYF3522
（お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

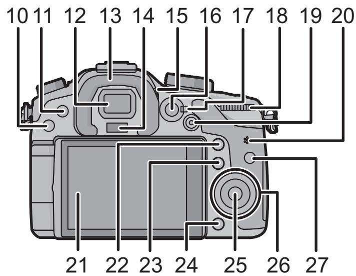
- **カードは別売です。**
- 別売品については68ページを参照してください。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ（H-HS12035）を用いて説明をしています。

各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ



1 シャッターボタン(P18)
2 セルフタイマーランプ(P41)/
AF補助光ランプ
3 センサー
4 フラッシュ発光部(P31)
5 フラッシュシンクロ端子※
6 レンズ取り付けマーク
7 マウント
8 レンズロックピン
9 レンズ取り外しボタン(P12)

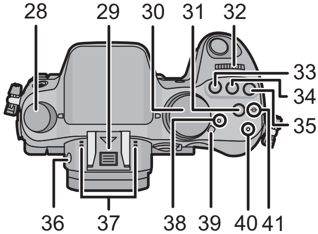


10 [▶](再生)ボタン(P19)
11 [LVF]ボタン(P15)/ [Fn5](ファンクション) ボタン(P17)
12 ファインダー(P15)
13 アイカップ※(P79)
14 アイセンサー(P15)
15 視度調整ダイヤル(P15)
16 [AF/AE LOCK(ロック)]ボタン(P39)
17 フォーカスモードレバー(P35)
18 後ダイヤル
19 動画ボタン(P18)
20 スピーカー
- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。
音が聞こえにくくなります。

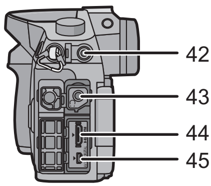
21 タッチパネル/モニター(P11)
22 [Q.MENU(クイックメニュー)]ボタン(P17)/ [Fn2](ファンクション) ボタン(P17)
23 [ ](オートフォーカスモード)ボタン(P35)/ [Fn3](ファンクション) ボタン(P17)
24 [🗑/↩](消去 / 戻る)ボタン(P22)/ [Fn4](ファンクション) ボタン(P17)
25 [MENU/SET(メニューセット)] ボタン(P11、16)
26 コントロールダイヤル(P11)/ カーソルボタン(P11)
27 [DISP.(ディスプレイ)] ボタン(P19、21)

※ フラッシュシンクロ端子キャップ(VKF5108)、アイカップ(VYK6B43)を無くされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

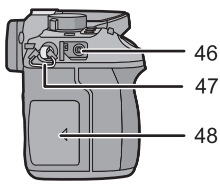
28　ドライブモードダイヤル
□:単写(P18)/ ⧉:連写(P40)/
⧉:オートブラケット(P41)/
⏱:セルフタイマー(P41)
29　ホットシュー(ホットシューカバー)
30　モードダイヤル(P23)
31　[Wi-Fi] ボタン(P47)/ [Fn1] ボタン(P17)
32　前ダイヤル
33　[WB](ホワイトバランス)ボタン(P33)
34　[ISO](ISO 感度)ボタン(P32)
35　[±](露出補正)ボタン(P31)
36　フラッシュオープンボタン(P31)
37　ステレオマイク
● マイクを指で塞がないようお気をつけください。
音が記録されにくくなります。
38　電源表示ランプ(P15)
39　電源スイッチ(P15)
40　Wi-Fi 接続ランプ
41　撮影距離基準マーク

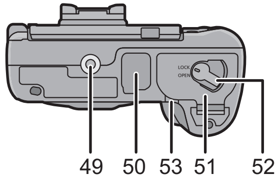


42　[MIC] 端子
43　ヘッドホン端子
44　[HDMI]端子(P63)
45　[AV OUT/DIGITAL]端子
(P63、66、67)



46　[REMOTE]端子
47　ショルダーストラップ取り付け部(P12)
48　カード扉(P14)





49　三脚取り付け部
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

50　接点カバー※

51　バッテリー扉(P13)

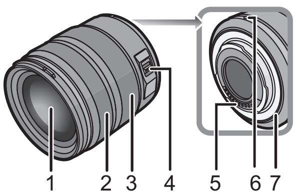
52　開閉レバー(P13)

53　DCカプラー扉
- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売：DMW-AC8)とDCカプラー(別売：DMW-DCC12)を使用してください。

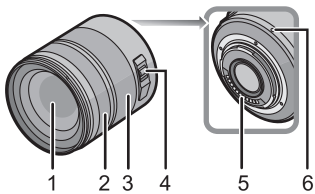
※ 接点カバー(VKF5104)を無くされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ 同梱レンズ

H-HS12035
LUMIX G X VARIO 12–35 mm/
F2.8 ASPH./POWER O.I.S.



H-VS014140
LUMIX G VARIO HD 14–140 mm/
F4.0–5.8 ASPH./MEGA O.I.S.



1　レンズ面

2　フォーカスリング(P37)

3　ズームリング(P30)

4　O.I.S. スイッチ
- 交換レンズ(H-HS12035、H-VS014140)には、O.I.S.スイッチがあります。レンズのO.I.S.スイッチを [ON] にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。(お買い上げ時は [((✋))]に設定されています)

5　接点

6　レンズ取り付けマーク

7　レンズマウントラバー

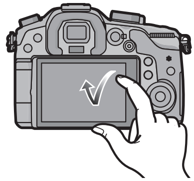
タッチパネル

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■ タッチする

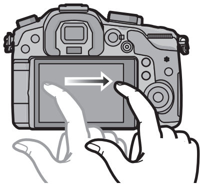
タッチパネルを押して離す動作です。
項目やアイコンを選択するときなどに使います。

- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。



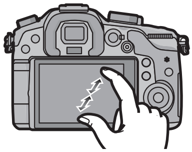
■ ドラッグする

タッチパネルを押したまま動かす動作です。
AFエリアを移動したり、スライドバーを操作するときなどに使います。
再生時は画像を送ることなどもできます。



■ ピンチする(広げる・縮める)

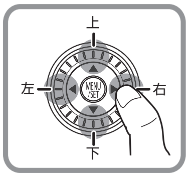
タッチパネルを2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。
再生画像やAFエリアを拡大/縮小するときなどに使います。



カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

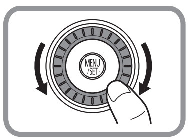
カーソルボタンを押す：　項目の選択や、数値の設定などを行います。
[MENU/SET] ボタンを押す：　設定内容の決定などを行います。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。



コントロールダイヤル

コントロールダイヤルを回す：
項目の選択や、数値の設定などを行います。

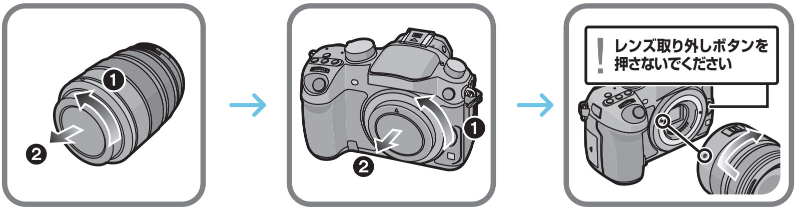


準備

● 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

レンズを交換する

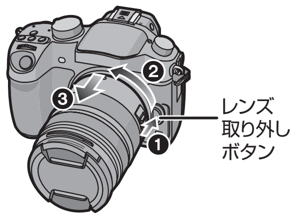
● レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は、78ページをお読みください。



■ レンズの取り外し方

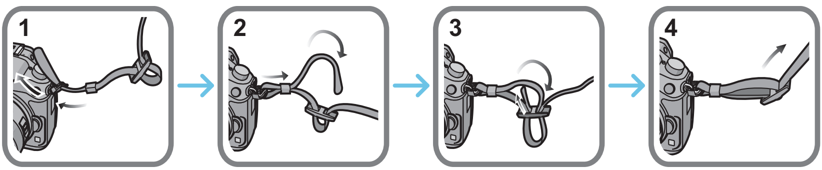
1 レンズキャップを付ける

2 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



ショルダーストラップを付ける

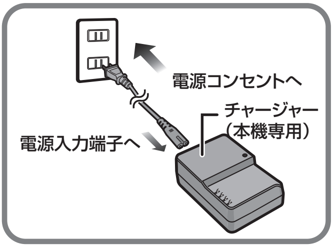
● 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

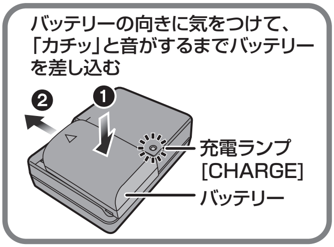


● 手順**1**～**4**の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーはDMW-BLF19です。





電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

■ 充電ランプの表示について

点灯： 充電中

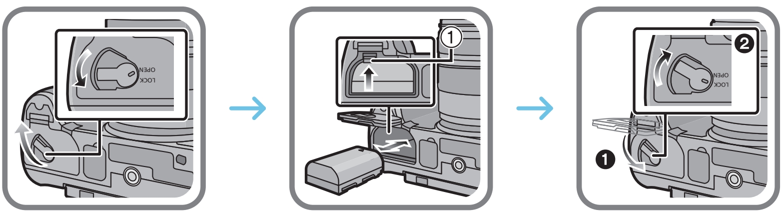
消灯： 充電完了（充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください）

■ 充電時間について

充電時間	約220分

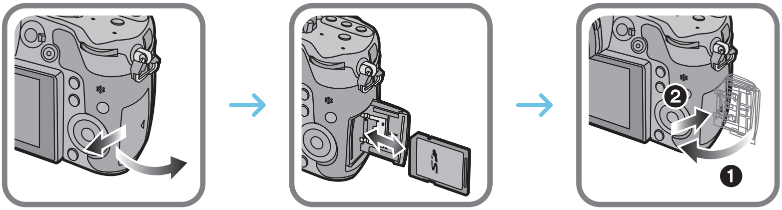
● 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

バッテリーを入れる・取り出す



● 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。

カード(別売)を入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。
  取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

■ 本機で使用できるカードについて

SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/miniSDカード※1/microSDカード※1
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※1
SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影とSDスピードクラスについて

動画撮影の際は、カードのラベル面などでSDスピードクラス(連続的な書き込みに関する速度規格)をご確認ください。[AVCHD]、[MP4]動画には「Class4」以上、[MOV]動画には「Class10」のカードを使用してください。

(例)　CLASS 4　4　CLASS 10　10

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

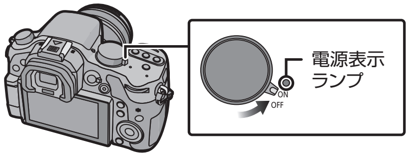
カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。**

セットアップメニューから[フォーマット]を選ぶ(P16)

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

時計を設定する



- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする
- 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。

2 [MENU/SET]ボタンを押す



3 ◀/▶ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ボタンで設定する

4 [MENU/SET]ボタンを押して決定する

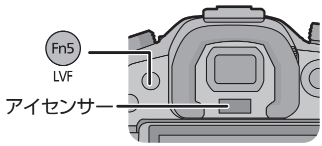
5 [MENU/SET]ボタンを押す



ファインダー撮影について

■ アイセンサー自動切り換えについて

カスタムメニューの[アイセンサー]の[LVF/モニター自動切換]を[ON]に設定しているときには、ファインダーに目や物を近づけるとファインダー表示に自動的に切り換えます。



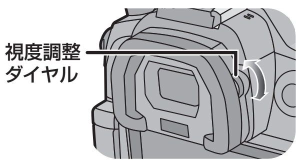
■ 手動でモニターとファインダーを切り換える

[LVF]ボタンを押す

[LVF]/[Fn5]ボタンは、[LVF]と[Fn5](ファンクション5)の2とおりの使い方ができます。
お買い上げ時は、[LVF/モニター切換]が設定されています。
- ファンクションボタンについて詳しくは17ページをお読みください。

■ 視度調整について

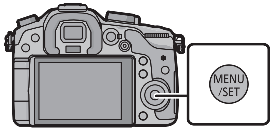
ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。



メニューを使って設定する

メニューの設定方法

1 [MENU/SET] ボタンを押す



メニュー	内容
[📷] 撮影(P72～)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[🎥] 動画(P73～)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[ƒC] カスタム(P74～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
[🔧] セットアップ(P76～)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[▶] 再生(P77～)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、▶ ボタンを押す



3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。



■ メニューを終了する

[🗑/↩] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換えるには

例)撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

1 ◀ ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで [🔧] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ

3 ▶ ボタンを押す

● 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

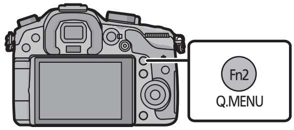


メニュー切り換えアイコン

よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

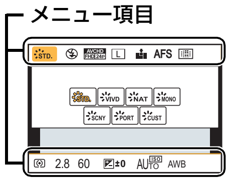
クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。
● モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

[Q.MENU]/[Fn2]ボタンは、[Q.MENU]と[Fn2](ファンクション2)の2とおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Q.MENU]が設定されています。



1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

2 前ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ



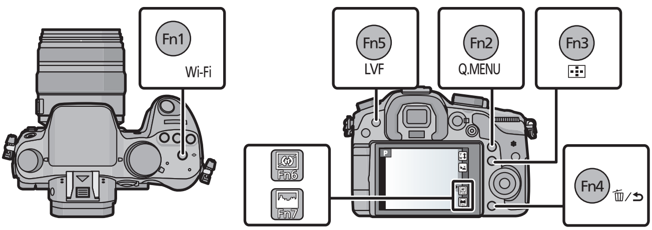
3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してメニューを終了する

● シャッターボタン半押しでも終了できます。

よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、撮影機能などを割り当てることができます。
[Fn1]、[Fn2]、[Fn3]、[Fn4]、[Fn5]はボタンを押すことで、[Fn6]、[Fn7]はアイコンをタッチすることで、割り当てた機能を使うことができます。



1 カスタムメニューの [Fnボタン設定] で、機能を割り当てたいファンクションボタンを選ぶ(P16)

2 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

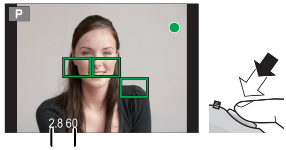
● それぞれのファンクションボタンにお好みの機能を割り当ててください。
● 設定後はメニューを終了してください。

写真を撮る

- ドライブモードダイヤルを[□](単写)に合わせる。

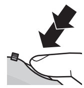
1 撮影モードを選ぶ(P23)

2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる



- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- **お買い上げ時は、[フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。**

3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

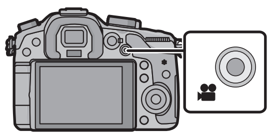


動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4、MOV 形式で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

項目	フォーマット
[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MP4]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MOV]	映像編集に適したデータ形式です。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する





- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 約10秒以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

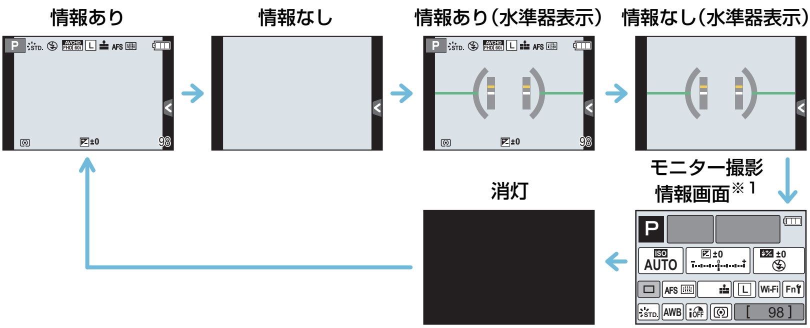
2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。([MP4]の[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)
- [MOV] でファイルサイズが4 GBを超える場合、撮影時は一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます。

撮影画面の表示情報を切り換える

[DISP.] ボタンを押して切り換える

● 画面は以下のように切り換わります。(モニター表示での例です)



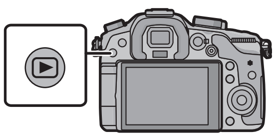
※1 カスタムメニューの[モニター撮影情報画面]を[ON]にしているときのみ表示されます。
各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

● 約10秒以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

再生する

写真を見る

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀:前の画像へ　　▶:次の画像へ

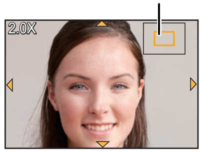


再生画面を拡大する(再生ズーム)

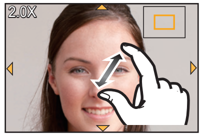
後ダイヤルを右側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

● ▲/▼/◀/▶ ボタンを押す、または画面をドラッグ(P11)すると、拡大部分を移動することができます。



● 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大(2倍)することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。
● 拡大したい部分をピンチアウト/ピンチイン(P11)しても、画像を拡大/縮小することができます。



複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

後ダイヤルを左側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー画面表示

● 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  ・[■]:1画面　・[▦]:12画面
  ・[▩]:30画面　・[CAL]:カレンダー再生
● スライドバーを上下にドラッグすると画面を切り換えることができます。



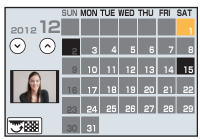
画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ
● 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET]ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する
● カレンダー画面表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回してください。

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHD、MP4、MOVまたはQuickTime Motion JPEGです。

再生状態で動画アイコン([🎥])が付いた画像を選び、▲ボタンを押して再生する



- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
- 画面中央の[▶]をタッチしても動画を再生できます。

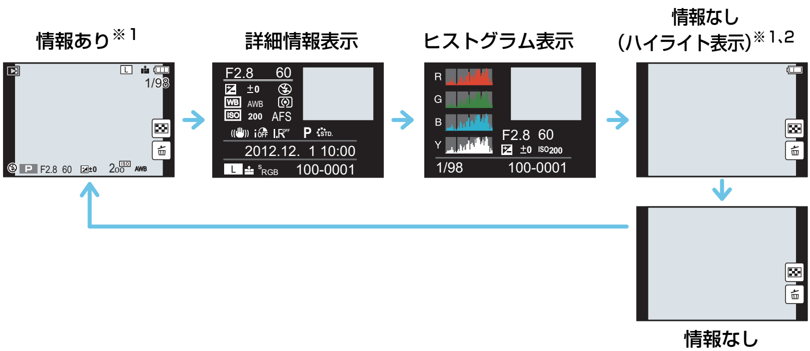
■ 動画再生中の操作

▲	▶/II	再生/一時停止	▼	■	停止
◀	◀◀	早戻し再生	▶	▶▶	早送り再生
	◀II	コマ戻し(一時停止中)		II▶	コマ送り(一時停止中)
コントロールダイヤル(左回し)	−	音量下げる	コントロールダイヤル(右回し)	+	音量上げる

再生画面の表示情報を切り換える

[DISP.]ボタンを押して切り換える

- 画面は以下のように切り換わります。



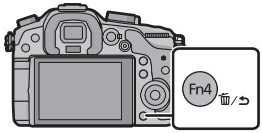
※1 約10秒以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
※2 カスタムメニューの[ハイライト表示]を[ON]にしているときのみ表示されます。

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

1枚消去

1 再生状態で消去する画像を選び、[🗑/↩]ボタンを押す



- [🗑]をタッチしても同じ操作ができます。

2 ▲ボタンで[1枚消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



- 確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと消去されます。

複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 再生状態で[🗑/↩]ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する(繰り返す)



- 設定した画像に[🗑]が表示されます。
  もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。

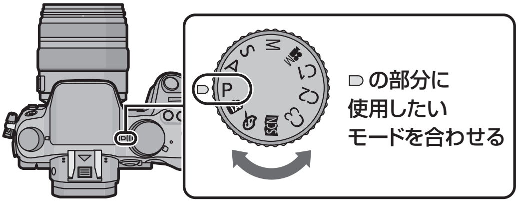
4 ([複数消去]選択時)◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押して実行する

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



P　プログラム AE モード(P24)

カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。

A　絞り優先 AE モード(P24)

絞り値を決めて撮影します。

S　シャッター優先AEモード(P25)

シャッタースピードを決めて撮影します。

M　マニュアル露出モード(P25)

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

動画M　クリエイティブ動画モード(P43)

絞り値やシャッタースピードを決めたり、スロー/クイック効果をかけて動画を撮影します。
※写真撮影はできません。

C1 C2 C3 カスタムモード(P29)

あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

SCN　シーンガイドモード(P26)

撮影シーンに合わせて撮影します。

クリエイティブコントロールモード(P27)

画像効果を確認しながら撮影します。

iA　インテリジェントオートモード(P28)

カメラにおまかせで撮影します。

iA+　インテリジェントオートプラスモード(P28)

インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。

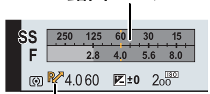
お好みの設定で撮る(プログラムAEモード)

撮影モード：P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 **モードダイヤルを[P]に合わせる**

2 **シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる**



3 **数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする**

- 前後のダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。
- 画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回してください。

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：A S M

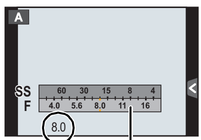
A：　絞り優先AEモード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 **モードダイヤルを[A]に合わせる**

2 **後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する**

- 設定した絞り値の効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P26)

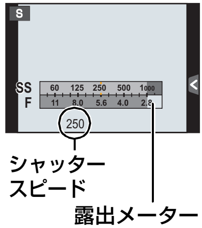


S： シャッター優先AE モード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 **モードダイヤルを[S]に合わせる**

2 **後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する**



- 設定したシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード] をお使いください。(P26)

M： マニュアル露出モード

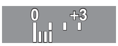
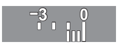
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

1 **モードダイヤルを [M] に合わせる**

2 **後ダイヤルを回してシャッタースピード、前ダイヤルを回して絞り値を設定する**



■ マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約 60分間)
シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。
花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

■ **常時プレビューについて**

マニュアル露出モードでは、カスタムメニューの[常時プレビュー(Mモード)]を[ON]に設定すると、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。(下記)

- フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード： iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN

1 **カスタムメニューの[Fn ボタン設定]を[プレビュー]に設定する(P17)**

- 次の手順は、[Fn4]ボタンに[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 **[Fn4]ボタンを押して確認画面を切り換える**

- [Fn4]ボタンを押すごとに画面が切り換わります。

通常撮影画面 → **絞り効果** → **シャッタースピード効果** →（通常撮影画面に戻る）

撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

撮影モード： SCN

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 **モードダイヤルを [SCN] に合わせる**

2 **◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ**

- 作例写真をドラッグして選ぶこともできます。



3 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

■ **もっと表現を楽しむために**

シーンを選ぶ画面で[DISP.]ボタンを押す、または[DISP.]をタッチすると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。もっと写真表現を楽しみたい方には、説明を読んで撮影してみることをお勧めします。

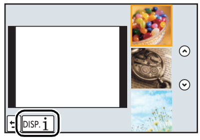
画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード：

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを [ ] に合わせる

2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ



- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。
- [DISP.] ボタンを押す、または [DISP.] をタッチすると、選択されている画像効果の説明が表示されます。

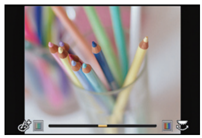
3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

1 **[WB] ボタンを押す**

2 **後ダイヤルを回して調整する**



- 調整できる項目は、選択している画像効果により異なります。
- 画像効果の設定を行うと、画面に [ ] が表示されます。
- 設定を変えない場合は、中心(標準)を選んでください。
- もう一度 [WB] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

ワンポイントカラー

■ 残す色を選ぶ

1 **▲ ボタンを押して設定画面を表示する**

2 **▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ**

3 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

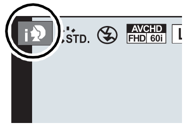
撮影モード： iA iA+

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを [iA] に合わせる

- インテリジェントオートモードまたはインテリジェントオートプラスモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。(下記)
  お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。

2 被写体に画面を合わせる



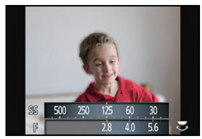
- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
- 被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。[ ]ボタンを押し、シャッターボタンを半押ししても可能です。

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 **[Fn4] ボタンを押す**

2 **後ダイヤルを回してボケ具合を設定する**



- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
  (ボケ味コントロール機能を終了するには、[Fn4] ボタンを押してください)

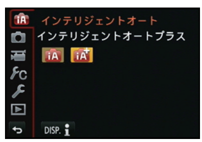
明るさや色合いを変えて撮る(インテリジェントオートプラスモード)

撮影モード： iA+

インテリジェントオートモードでカメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できるモードです。

1 インテリジェントオートモード時に [MENU/SET] ボタンを押す

2 ► ボタンで [iA+] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- [DISP.] ボタンを押す、または [DISP. i] をタッチすると、選択されているモードの説明が表示されます。
- メニューが表示されないときは、メニュー画面の [iA] タブを選んでください。

明るさを設定する

1 [⊠]ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して明るさを調整する

- もう一度[⊠]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



色合いを設定する

1 [WB]ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- もう一度[WB]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード：C1 C2 C3

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で5つまで登録しておくことができます。(C1、C2、C3-1、C3-2、C3-3)

準備：あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 カスタムメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ(P16)

2 ▲/▼ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

1 モードダイヤルを[C1]、[C2]または[C3]に合わせる

- モードダイヤルを[C3]に合わせた場合は、[C3-1]、[C3-2]または[C3-3]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。
カスタムセットを変更するときは、
→手順 **2**、**3** へ

2 [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する

3 ◄/► ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 設定を変更した場合は

モードダイヤルをC1、C2またはC3に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

ズームを使って撮る

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN ♂

■ ズームの種類と撮影倍率

種類	光学ズーム	EXテレコン(EX)（P72、73）	デジタルズーム(P72)
撮影倍率	使用するレンズによって異なります。	写真時：最大 2倍※1 動画時：2.4 倍※2	2倍（[2×]選択時） 4倍（[4×]選択時）
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する

※1 記録画素数[S]（4 M）、画像横縦比[4:3]選択時。記録画素数や画像横縦比により変わります。
※2 画質設定[FHD/30p]、[FHD/24p]、[FHD/30p/I]、[FHD/24p/I]選択時。

フラッシュを使って撮る

使えるモード： iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN

■ 内蔵フラッシュを開く／閉じる

内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

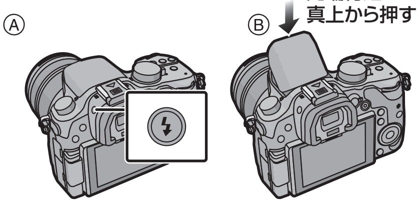
Ⓐ 開くとき

電源スイッチを[ON]にし、
フラッシュオープンボタンを押す

Ⓑ 閉じるとき

内蔵フラッシュの先端付近を真上から押す

- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。



フラッシュモードを切り換える

使えるモード： P A S M C1 C2 C3 SCN

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定できます。

- フラッシュを開いてください。

1 **撮影メニューから[フラッシュ設定]を選ぶ(P16)**
2 **▲/▼ボタンで[フラッシュモード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**
3 **▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

露出を補正して撮る

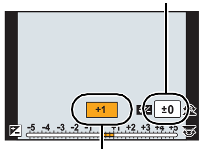
使えるモード： P A S 🎥M C1 C2 C3 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 **[☑]ボタンを押す**

2 **後ダイヤルを回して露出を補正する**

- [DISP.]ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。
- 露出を補正しない場合は、"±0"を選んでください。



3 **前ダイヤルを回してフラッシュ発光量を調整する**

- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定し、[フラッシュ設定]の[発光モード]を[TTL]または[ワイヤレス]に設定時のみ操作できます。

4 **[☑]ボタンを押して決定する**

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

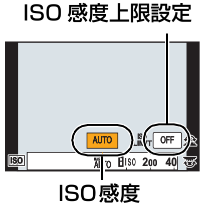
ISO感度を設定する

使えるモード：iA iA+ P A S M ◼M C1 C2 C3 SCN 🎨

光に対する感度（ISO感度）を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 [ISO] ボタンを押す

2 後ダイヤルを回してISO感度を選ぶ



- [DISP.] ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。

3 前ダイヤルを回して ISO 感度の上限を設定する

- ISO 感度が [AUTO] または [iISO] 時に働きます。

4 [ISO] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

ISO感度	設定内容
AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ● 最大 [ISO3200]（フラッシュ使用時 [ISO1600]）※1
iISO（インテリジェント）	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。 ● 最大 [ISO3200]（フラッシュ使用時 [ISO1600]）※1 ● シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
L.125※2/200/400/800/1600/3200/6400/12800/H.25600※2	それぞれのISO感度に固定します。 ● 撮影メニューの [ISO感度ステップ] を [1/3 EV] に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します。

※1 ISO感度上限設定を [OFF] に設定時。
ISO感度上限設定を [400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800] に設定時は、選択した数値を上限として、被写体の明るさに応じた最適な ISO 感度を設定します。

※2 [拡張ISO感度] を設定時のみ

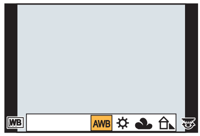
ホワイトバランスを調整する

使えるモード： iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB]ボタンを押す

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ



- コントロールダイヤルを回しても設定できます。

3 ▼ボタンを押し、◀/▶ボタンまたは▲/▼ボタンを押してホワイトバランスを微調整する

◀：A（アンバー：オレンジ系）　▲：G（グリーン：緑系）
▶：B（ブルー：青系）　▼：M（マゼンタ：赤系）

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。
- [DISP.]ボタンを押すとリセットされます。

4 [WB]ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

項目	撮影状況
[AWB]	自動調整
[☼]	晴天の屋外での撮影時
[☁]	曇りの屋外での撮影時
[⌂]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[白熱灯]	白熱灯下での撮影時
[⚡WB] ※	フラッシュ光のみでの撮影時
[1]、[2]、[3]、[4]	手動で設定した設定値を使用
[K]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。

ホワイトバランスブラケット

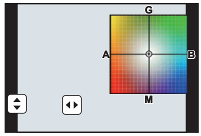
１回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に３枚撮影します。

1 **[WB] ボタンを押す**

2 **後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す**

3 **コントロールダイヤルを回してブラケット設定を行う**

コントロールダイヤルを右に回す：横方向（A～B）
コントロールダイヤルを左に回す：縦方向（G～M）



- [▲▼]/[◀▶] をタッチしてもブラケット設定することができます。
- [DISP.] ボタンを押すとリセットされます。

4 **[MENU/SET] ボタンを押す**

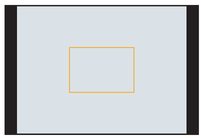
手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 **[WB] ボタンを押す**

2 **後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して [1]、[2]、[3] または [4] を選び、▲ ボタンを押す**

3 **白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET] ボタンを押す**



色温度設定

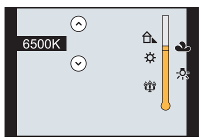
撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位：K（ケルビン）]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

1 **[WB] ボタンを押す**

2 **後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して [K] を選び、▲ ボタンを押す**

3 **▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- [2500K]～[10000K] まで設定できます。

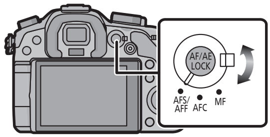


自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

使えるモード： iA iA+ P A S M ≌M C1 C2 C3 SCN ◎

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。
また、タッチパネルを使って指定した被写体にピントを合わせることができます。(カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチAF]を[ON]に設定してください)

[⊞]/[Fn3]ボタンは、[⊞](オートフォーカスモード)と[Fn3](ファンクション3)の2とおりの使い方ができます。
お買い上げ時は、[オートフォーカスモード]が設定されています。
● ファンクションボタンについて詳しくは 17 ページをお読みください。

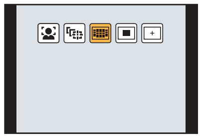


1 **フォーカスモードレバーを[AFS/AFF]または[AFC]に合わせる(下記)**

2 **[⊞]ボタンを押す**

3 **◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

● [⊡]、[▦]、[■]、[+] を選択時に ▼ ボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。



フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)

項目	被写体の動き、撮影シーン(お勧め)	内容
AFS※	静止している(風景、記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF※	動きが予測できない(子供、ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている(スポーツ、鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)
MF	手動でピントを合わせます。(P37)	

※ カスタムメニューの[AFS/AFF]で、フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てることができます。

オートフォーカスモードの種類

（顔認識）について

人の顔を自動的（最大15個）に検知します。認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。

カメラが顔を認識するとAFエリア枠が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。
白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

（追尾AF）について

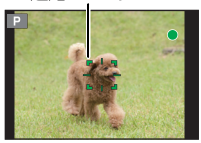
指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。（動体追尾）

■ **ボタン操作時**

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しするとロックできます。

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET] ボタンを押すと、ロックは解除されます。

追尾AFエリア



（23点）について

AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。（AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります）

（1点）について

中央のAFエリア内にピントを合わせます。

（ピンポイント）について

[ ] より小さな点で繊細なピント合わせができます。

■ AFエリアの位置を設定する

● タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。

1 [⊞] を選び、▼ ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、[MENU/SET] ボタンを押す
- アシスト画面が約5倍で拡大表示されます。
- 被写体をタッチしてもアシスト画面が表示できます。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで中央の十字の交点に被写体を合わせる
- 画面をドラッグしてピントを合わせる位置を合わせることもできます。
- [DISP.] ボタンを押すとピントを合わせる位置は中央に戻ります。
- アシスト画面では、[⤓]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。



手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

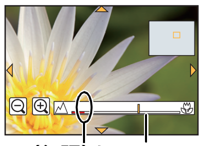
使えるモード : [iA] [iA+] [P] [A] [S] [M] [🎥M] [C1] [C2] [C3] [SCN] [🎨]

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる

2 レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせる
- フォーカスリングを回すとアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MFアシスト)カスタムメニューの[MFアシスト]で、MF アシストの表示方法を変更することができます。
- カスタムメニューの[MFガイド]を[ON]に設定時は、フォーカスリングを回すと画面にMFガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へのフォーカスリングの回転方向を確認できます。

MF アシスト(拡大画面)



∞(無限)を示す目安

MF ガイド

MFアシストについて

■ MF アシストを表示する

- フォーカスリングを回す、または画面をタッチすると表示されます。(クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ]では、画面のタッチによる表示ができません)
- [ ]ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて[MENU/SET] ボタンを押しても表示できます。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]が[ON]のときは、カーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面になります。

■ MF アシストの表示を変更する

拡大倍率を約4倍/5倍/10倍に変更できます。4倍の場合は画面中央に、5倍/10倍の場合は画面全体に拡大表示されます。

- 後ダイヤルを回す、または [ ]/[ ]をタッチすると倍率を変更できます。

■ 拡大位置を移動する

- 画面をドラッグ(P11)する、またはカーソルボタンを押すと移動できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
  - フォーカスモードを[MF]以外に設定したとき
  - [画像横縦比]、[記録画素数]を変更したとき
  - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
  - 拡大位置の設定画面で[DISP.]ボタンを押したとき

■ MF アシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- [MENU/SET]ボタンを押す、または[終了]をタッチしても終了します。
- フォーカスリングを回して表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード： iA iA+ P A S M ▶M C1 C2 C3 SCN

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

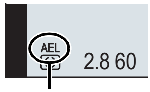
1 **被写体に画面を合わせる**

2 **[AF/AE LOCK]ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する**

- [AF/AE LOCK]ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

3 **[AF/AE LOCK]ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする**

- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。



AEロック表示

■ AF/AEロック切換について

カスタムメニューの[AF/AEロック切換]で、ピントや露出の固定内容を設定できます。

項目	設定内容
[AE LOCK]	露出だけを固定します。 ● 露出が合うと、[AEL]および絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。 ● ピントが合うと、[AFL]およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。 ● ピントと露出が合うと、[AFL]と[AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF-ON]	オートフォーカスが作動します。

連写する

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN ⭘

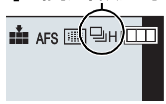
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 ドライブモードダイヤルを[連写]に合わせる

2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

連写 [H(高速)設定時]



■ 連写速度を変更する場合

1 撮影メニューから[連写速度]を選ぶ(P16)

2 ▲/▼ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

		[SH](超高速)	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度		20 コマ/秒	6 コマ/秒	4 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
連写コマ数	RAWファイルあり	ー	18コマ※1、2		
	RAW ファイルなし	最大80コマ	カードの空き容量に依存※2		

※1 撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの[超解像]を[拡張]に設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)

※2 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

■ 連写とピントについて

フォーカスモード	フォーカス/レリーズ優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 コマ目
	レリーズ	
AFF/AFC ※3	フォーカス	常時ピント※4
	レリーズ	予測ピント※5
MF	ー	マニュアルで設定したフォーカス

※3 被写体が暗い場合や連写速度を[SH]に設定時は、ピントは1コマ目に固定されます。

※4 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※5 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

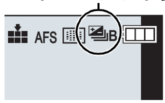
露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN 🎨

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

1 ドライブモードダイヤルを[ ]に合わせる

2 ピントを合わせて撮影する



- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1 枚目からの撮影になります。

■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 撮影メニューから[オートブラケット]を選ぶ(P16)

2 ▲/▼ ボタンで[単写/連写設定]、[補正幅]または[ブラケット順序]を選び、▶ ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後はメニューを終了してください。

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN 🎨

1 ドライブモードダイヤルを[ ]に合わせる

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する



■ セルフタイマーの時間を変更する場合

1 撮影メニューから[セルフタイマー]を選ぶ(P16)

2 ▲/▼ ボタンでモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
(10)	10秒後に撮影します。
(10 ×3)	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
(2)	2秒後に撮影します。

- 設定後はメニューを終了してください。

動画を撮る

カメラの映像をモニターしながら撮る

HDMI出力時は、動画をテレビなどでモニターしながら撮影することができます。
HDMI ミニケーブル（別売）でテレビと接続する方法については、63 ページをお読みください。

音声をモニターしながら撮る

本機に市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影することができます。

- ヘッドホンケーブルは 3 m 未満をご使用ください。

動画撮影中に写真を記録する

使えるモード： iA iA+ P A S M C1 C2 C3 SCN

動画撮影中でも写真を記録することができます。（同時記録）

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能を使って撮影することもできます。



絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード)

撮影モード：[🎥M]

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを[🎥M]に合わせる

2 動画撮影メニューから[動画露出設定]を選ぶ(P16)

3 ▲/▼ボタンで[P]、[A]、[S]、[M]のいずれかを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- モードダイヤルを **P** / **A** / **S** / **M** のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

5 撮影を終了する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。

スロー動画/クイック動画

撮影コマ数を変更して、スローモーション、クイックモーションの動画を撮影できます。

1 動画撮影メニューから[スロー/クイック効果]を選ぶ(P16)

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
OFF	—
40%、48%、80%	0.4倍速、0.48倍速、0.8倍速のスロー動画を記録
160%、200%、300%	1.6倍速、2.0倍速、3.0倍速のクイック動画を記録

- 例えば[200%]で10秒間撮影すると、記録される動画の長さは5秒になります。
- 設定後はメニューを終了してください。

動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

- 動画撮影メニューの[タッチ静音操作]を[ON]に設定してください。

1 撮影を開始する

2 [ ]をタッチする
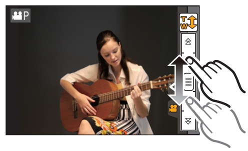
3 アイコンをタッチして、設定画面を表示する

TW	ズーム(パワーズーム対応交換レンズ使用時)
F	絞り値
SS	シャッタースピード
	露出補正
ISO	ISO 感度
	マイクレベル設定

4 スライドバーをドラッグして設定する

- タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

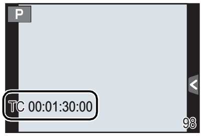
[▲]/[▼]	ゆっくり設定を変える
[⏶]/[⏷]	速く設定を変える



5 撮影を終了する

タイムコードの記録方法を設定する

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 C3 SCN 🎨



タイムコードは、時間、分、秒、フレームで記録時間を表示するもので、パソコンでの動画編集の際にタイムコードを基に編集を行うことができます。
本機では動画撮影時にタイムコードが自動的に記録されます。
- [記録方式]を[MP4]に設定して撮影した動画には、タイムコードは記録されません。

1 動画撮影メニューから[タイムコード設定]を選ぶ(P16)

2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
タイムコード表示	[ON]、[OFF]
カウントアップ方式	[レックラン]：動画記録中のみタイムコードをカウントします。 [フリーラン]：動画記録停止中(電源OFF時を含む)もタイムコードをカウントします。
タイムコード値設定	[リセット]：00:00:00:00(時：分：秒：フレーム)に設定します。 [手動入力]：時：分：秒：フレームを手動で入力します。 [現時刻]：時：分：秒を現時刻に設定し、フレームを00に設定します。
タイムコードモード	[DF](ドロップフレーム)： 記録時間とタイムコードの誤差を補正して記録します。時間を厳密に記録する必要のある番組制作などで用いられます。 [NDF](ノンドロップフレーム)： ドロップフレームを行わないでタイムコードを記録します。映像制作などで用いられます。 ● [FHD/24p]、[FHD/24p/I] 設定時は [NDF] に固定されます。

Wi-Fi® 機能でできること

Wi-Fi対応機器と連携することで、離れたところからカメラを操作したり、撮影中または再生中でも離れた人と画像を共有することができます。

<table>
<tr><th>[リモートで撮る](P47)</th><th>[TV で見る](P53)</th></tr>
<tr><td>
スマートフォン/タブレットと連携して、以下のことができます。
● リモート撮影をする(P48)
● カメラの画像を再生する(P49)
● カメラの画像をスマートフォン / タブレットに保存したり、Webサービスなどに送信する(P49)
● 取得した位置情報をカメラに送信する(P49)</td><td>
DLNA対応テレビと連携して、撮影した画像をその場ですぐにTVに表示したり、後から再生してTVに表示することができます。</td></tr>
<tr><th>[撮影中に画像を送る](P54)</th><th>[カメラ内の画像を送る](P58)</th></tr>
<tr><td>
写真を撮るたびに指定した場所に自動で送ることができ、撮影した画像をスマートフォン/タブレットで確認したり、PCで画像の保存や編集をすることができます。
● 送信先:
– [スマートフォン]
– [PC]
– [クラウド同期サービス]
– [Web サービス]
– [AV機器]</td><td>
撮影後に画像を選んで送信できます。
● 送信先:
– [スマートフォン] ※
– [PC]
– [クラウド同期サービス]
– [Web サービス]
– [AV 機器]
– [プリンター]
※ スマートフォン/タブレットに送ることができるのは、JPEG、MP4 のみです。</td></tr>
</table>

[リモートで撮る]

スマートフォン/タブレットを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォン/タブレットに「LUMIX LINK」をインストールする必要があります。

スマートフォン/タブレットアプリ「LUMIX LINK」をインストールする

「LUMIX LINK」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

	Android™ 向けアプリ	iOS 向けアプリ
バージョン	2.1（2012 年 10 月現在）	
対応 OS	Android 2.2 ～ Android 4.0※	iOS 4.3 ～ iOS 6.0
インストール手順	**1** Android 端末をネットワークに接続する **2** 「Google Play™ ストア」を選ぶ **3** 検索フィールドに「LUMIX LINK」と入力する **4** 「LUMIX LINK」を選び、インストールする ● メニューにアイコンが追加されます。 	**1** iOS端末をネットワークに接続する **2** 「App Store℠」を選ぶ **3** 検索フィールドに「LUMIX LINK」と入力する **4** 「LUMIX LINK」を選び、インストールする ● メニューにアイコンが追加されます。 

● お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。動作確認済みの機器については、下記サポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/
● 3G等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
※ [Wi-Fi Direct]で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct に対応している必要があります。

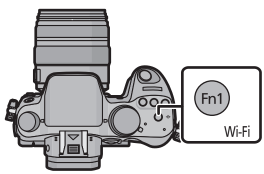
スマートフォン/タブレットと接続する

準備：

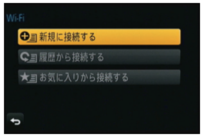
● LUMIX LINK をインストールしておく（上記）

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

> [Wi-Fi]/[Fn1]ボタンは、[Wi-Fi]と[Fn1](ファンクション1)の2とおりの使い方ができます。
> お買い上げ時は、[Wi-Fi]が設定されています。
> ● ファンクションボタンについて詳しくは 17 ページをお読みください。

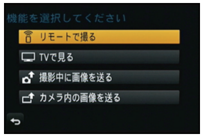


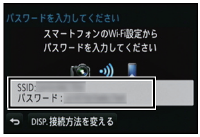
2 **▲/▼ボタンで[新規に接続する]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**



- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する](P49)または[お気に入りから接続する](P49)から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ボタンで[リモートで撮る]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**





- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報(SSID、パスワード)が表示されます。

スマートフォン/タブレット側(初期状態は[手動接続]での接続になります)

4 **スマートフォン/タブレットの設定メニューで、Wi-Fi機能をONにする**

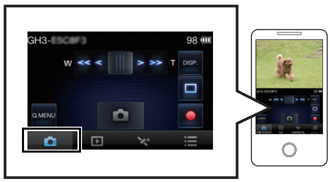
5 **本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する**

6 **お使いのスマートフォン/タブレットで「LUMIX LINK」を起動する(P47)**

- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。

スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影)

スマートフォン/タブレットの[📷]を選ぶ

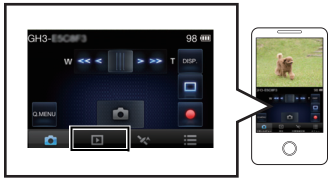


- 動画撮影はタイマー録画になります。事前に時間を設定してください。
- スマートフォン/タブレットから途中で動画撮影を終了させることはできません。終了させるにはカメラ側で操作してください。
- 動画撮影中はスマートフォン/タブレットの画面に撮影中の映像は表示されません。
- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。

カメラの画像を再生する

スマートフォン/タブレットの[▶]を選ぶ

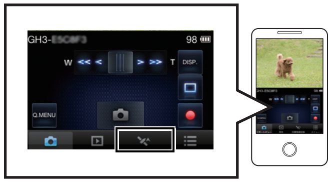
- スマートフォン/タブレットに画像を保存することができます。
- 動画の再生はできません。
- Webサービスなどに画像を送信することができます。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。



スマートフォン/タブレットからカメラに位置情報を送信する

スマートフォン/タブレットの[ ]を選ぶ

- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。



[履歴から接続する]

以前と同じ設定でWi-Fi接続をしたい場合、履歴から選んで接続することができます。

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使うWi-Fi接続設定は[お気に入り登録]して保存しておくことをお勧めします。
- [Wi-Fi設定リセット]を行うと履歴と[お気に入り登録]した内容は消去されます。

1 **[Wi-Fi]ボタンを押す**

2 **▲/▼ボタンで[履歴から接続する]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

3 **▲/▼ボタンで接続したい項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

- [DISP.]ボタンを押すと、接続の詳細が表示されます。

[お気に入りから接続する]

1 **[Wi-Fi]ボタンを押す**

2 **▲/▼ボタンで[お気に入りから接続する]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

3 **▲/▼ボタンで接続したい項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

- [DISP.]ボタンを押すと、接続の詳細が表示されます。

接続方法を選ぶ

無線アクセスポイント経由で接続するか直接接続するかを選べます。

無線アクセスポイントを経由して接続する

▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

接続方法	設定内容	
[WPS※ (プッシュ ボタン)]	WPSマークがあり、プッシュボタン方式の Wi-Fi Protected Setup™対応の無線アクセスポイントを登録します。	P50
[WPS (PINコード)]	WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。	P50
[手動接続]	WPS に対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。	P51

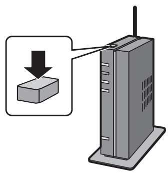
※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。

[WPS (プッシュ ボタン)] で接続する場合

無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す

● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

(例)



[WPS (PINコード)] で接続する場合

1. ▲/▼ ボタンで接続する無線アクセスポイントを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
2. 本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する
3. [MENU/SET] ボタンを押す
   ● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

WPS に対応しているかわからない場合（[手動接続]で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

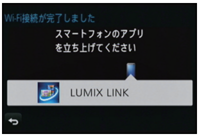
- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力]で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 **▲/▼ ボタンで接続する無線アクセスポイントを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。



2 **（ネットワーク認証が暗号化されている場合）暗号化キーを入力する**



■ [マニュアル入力]で接続する場合

1 **「WPS に対応しているかわからない場合（[手動接続]で接続する）」の手順 *1* の画面で、▲/▼ ボタンで[マニュアル入力]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

2 **接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ**

3 **▲/▼ ボタンでネットワークの認証方式を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

4 **▲/▼ ボタンで暗号化方式を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
[WPA2-PSK]/[WPA-PSK]	[TKIP]/[AES]
[共通キー]	[WEP]
[オープン]	[暗号化なし]/[WEP]

5 **（[暗号化なし]以外選択時）暗号化キーを入力して [決定]を選ぶ**

安全上のご注意
準備
基本
撮る
Wi-Fi
他の機器との接続
その他

直接接続する

● 本機を無線アクセスポイントとしてお使いの機器と直接接続します。お使いの機器の対応した方法で本機と接続することができます。

▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

接続方法	設定内容
[Wi-Fi Direct]TM	**1** 機器を Wi-Fi Direct モードにする **2** ▲/▼ ボタンで [Wi-Fi Direct] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す **3** ▲/▼ ボタンで接続する機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ● 詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
[WPS 接続]	[WPS（プッシュボタン）] **1** ▲/▼ ボタンで [WPS（プッシュボタン）] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す **2** 機器を WPS モードにする ● 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	[WPS（PIN コード）] **1** ▲/▼ ボタンで [WPS（PINコード）] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す **2** 機器の PIN コードを本機に入力する
[手動接続]	機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードを機器に入力する

[TVで見る]

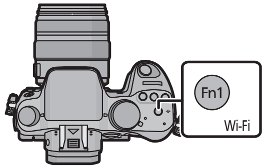
撮影してすぐに画像をTVに表示する/再生した画像をTVに表示する

Wi-Fi機能の[TVで見る]を使うと、DLNA規格のデジタルメディアレンダラー(DMR)機能に対応したテレビに画像を表示することができます。

- 対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

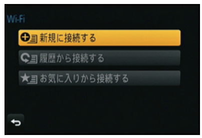
準備:
テレビを DLNA 待ち受けモードにする ● お使いのテレビの説明書をお読みください。

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**



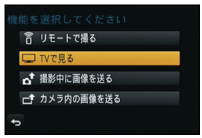
2 **▲/▼ ボタンで[新規に接続する]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する](P49)または[お気に入りから接続する](P49)から接続先を選ぶことができます。



3 **▲/▼ ボタンで[TVで見る]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**



[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由してTVと接続したいとき(P50)
[直接接続]	[Wi-Fi Direct]、[WPS接続]または[手動接続]でTVを本機に直接接続したいとき(P52)

5 **▲/▼ ボタンで接続したい機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 接続が完了すると画面が表示されます。

6 **本機で撮影または写真を再生する**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。

[撮影中に画像を送る]

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。
連写時や動画撮影中など、撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。

- 動画は送信できません。
- 送信完了前に電源スイッチを[OFF]にしたり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。
- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットに画像を送る

準備:
● LUMIX LINK をインストールしておく(P47)

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する](P49)または[お気に入りから接続する](P49)から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [撮影中に画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [スマートフォン] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **接続方法を選ぶ**

6 **▲/▼ ボタンで接続したい機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。

7 **写真を撮る**

- 撮影後、自動的に写真が送信されます。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

パソコンに画像を送る

準備：

- パソコンの電源を入れておく。
- パソコンに写真を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する](P49)または[お気に入りから接続する](P49)から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [撮影中に画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由してパソコンと接続したいとき(P50)
[直接接続]	[Wi-Fi Direct]、[WPS接続]または[手動接続]でパソコンを本機に直接接続したいとき(P52)

6 **▲/▼ ボタンで接続したいパソコンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

7 **▲/▼ ボタンで送信するフォルダーを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。

8 **写真を撮る**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

クラウド同期サービスに画像を送る

準備:

クラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB（PicMate）への登録とクラウド同期設定が必要です。

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する]（P49）または [お気に入りから接続する]（P49）から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [撮影中に画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [クラウド同期サービス] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P50）**

6 **送信設定を確認する**
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。

7 **写真を撮る**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

Webサービスに画像を送る

準備:

Webサービスに画像を送信するには、LUMIX CLUB（PicMate）への登録が必要です。
LUMIX CLUB（PicMate）以外のWebサービスに画像を送信するには、そのWebサービスを登録しておく必要があります。

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する]（P49）または [お気に入りから接続する]（P49）から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [撮影中に画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [Web サービス] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P50）**

6 **▲/▼/◀/▶ ボタンで接続したいサービスを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。

7 **写真を撮る**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

AV 機器に画像を送る

準備：

[宅内AV機器] に画像を送る場合、お使いの機器を DLNA 待ち受けモードにする
- お使いの機器の説明書をお読みください。

[宅外AV 機器] に画像を送る場合、以下が必要になります。
- LUMIX CLUB（PicMate）への登録
- 送信先の宅外 AV 機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する]（P49）または [お気に入りから接続する]（P49）から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [撮影中に画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [AV 機器] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **▲/▼ ボタンで [宅内AV機器] または [宅外AV機器] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

6 **▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- [宅外AV機器] を選択時、無線アクセスポイントを設定する画面が表示されます。（P50）

[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由してAV機器と接続したいとき（P50）
[直接接続]	[Wi-Fi Direct]、[WPS接続] または [手動接続] でAV機器を本機に直接接続したいとき（P52）

7 **▲/▼ ボタンで接続したい機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。

8 **写真を撮る**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

[カメラ内の画像を送る]

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 再生メニューの[お気に入り]または[プリント設定]の設定内容は送信されません。
- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

スマートフォン/タブレットに画像を送る

準備：

- LUMIX LINK をインストールしておく（P47）

1 [Wi-Fi] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する]（P49）または[お気に入りから接続する]（P49）から接続先を選ぶことができます。

3 ▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [スマートフォン] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 接続方法を選ぶ

6 ▲/▼ ボタンで接続したい機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。

7 ▲/▼ ボタンで [1 枚選択] または [複数選択] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。

8 画像を選んで送る

パソコンに画像を送る

準備：

- パソコンの電源を入れておく。
- パソコンに写真を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する](P49)または [お気に入りから接続する](P49)から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由してパソコンと接続したいとき(P50)
[直接接続]	[Wi-Fi Direct]、[WPS接続]または[手動接続]でパソコンを本機に直接接続したいとき(P52)

6 **▲/▼ ボタンで接続したいパソコンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

7 **▲/▼ ボタンで送信するフォルダーを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。

8 **▲/▼ ボタンで [1 枚選択] または [複数選択] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。

9 **画像を選んで送る**

クラウド同期サービスに画像を送る

準備：

クラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB（PicMate）への登録とクラウド同期設定が必要です。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す
2 ▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する]（P49）または [お気に入りから接続する]（P49）から接続先を選ぶことができます。

3 ▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
4 ▲/▼ ボタンで [クラウド同期サービス] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
5 ▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P50）
6 送信設定を確認する
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。

7 ▲/▼ ボタンで [1枚選択] または [複数選択] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。

8 画像を選んで送る

Webサービスに画像を送る

準備：

Webサービスに画像を送信するには、LUMIX CLUB（PicMate）への登録が必要です。
LUMIX CLUB（PicMate）以外のWebサービスに画像を送信するには、そのWeb サービスを登録しておく必要があります。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す
2 ▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する]（P49）または [お気に入りから接続する]（P49）から接続先を選ぶことができます。

3 ▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
4 ▲/▼ ボタンで [Webサービス] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
5 ▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P50）
6 ▲/▼/◀/▶ ボタンで接続したいサービスを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。

7 ▲/▼ ボタンで [1枚選択] または [複数選択] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。

8 画像を選んで送る

AV 機器に画像を送る

準備：

[宅内 AV機器]に画像を送る場合、お使いの機器を DLNA 待ち受けモードにする
- お使いの機器の説明書をお読みください。

[宅外 AV 機器]に画像を送る場合、以下が必要になります。
- LUMIX CLUB (PicMate)への登録
- 送信先の宅外 AV 機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する](P49)または [お気に入りから接続する](P49)から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [AV 機器] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **▲/▼ ボタンで [宅内AV機器] または [宅外AV機器] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

6 **▲/▼ ボタンで 接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- [宅外AV機器]を選択時、無線アクセスポイントを設定する画面が表示されます。(P50)

[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由してAV機器と接続したいとき(P50)
[直接接続]	[Wi-Fi Direct]、[WPS接続]または[手動接続]でAV機器を本機に直接接続したいとき(P52)

7 **▲/▼ ボタンで 接続したい機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。

8 **▲/▼ ボタンで [1枚選択] または [複数選択] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。

9 **画像を選んで送る**

プリンターに画像を送る

準備:

- 撮影した写真をワイヤレスで PictBridge（ワイヤレス LAN 対応）※のプリンターから印刷することができます。

※ DPS over IP 規格準拠
PictBridge（ワイヤレスLAN対応）のプリンターについては、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

1 **[Wi-Fi] ボタンを押す**

2 **▲/▼ ボタンで [新規に接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続する]（P49）または [お気に入りから接続する]（P49）から接続先を選ぶことができます。

3 **▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **▲/▼ ボタンで [プリンター] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

5 **▲/▼ ボタンで接続方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由してプリンターと接続したいとき（P50）
[直接接続]	[Wi-Fi Direct]、[WPS接続]または[手動接続]でプリンターを本機に直接接続したいとき（P52）

6 **▲/▼ ボタンで接続したいプリンターを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

7 **画像を選んでプリントする（P67）**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。

テレビで見る

準備:本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機とテレビをつなぐ

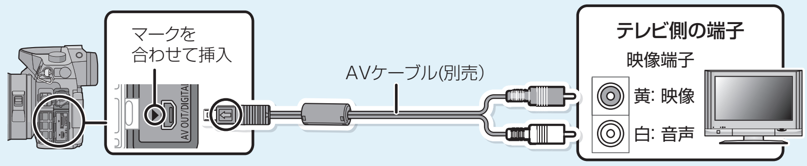
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)

HDMIミニケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。
  – 品番:RP-CDHM15(1.5 m)、RP-CDHM30(3.0 m)

AV ケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 AVケーブル(別売)をお使いください。
  – 品番: DMW-AVC1

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶]ボタンを押す

- [ビエラリンク]を[ON]に設定して、HDMIミニケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。

写真や動画をパソコンに残す

■ 使用できるパソコン

マスストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合:　Windows 7/Windows Vista/Windows XP
- Mac の場合:　OS X v10.1～v10.8

AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります。
- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずCD-ROM(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie' 11」を使って取り込むことができます。
ただし、画質設定が[AVCHD]の[FHD/60p]の動画(AVCHD Progressive)は、取り込みできません。
(iMovie' 11の詳細は、Apple にお問い合わせください)

付属のソフトウェアを使う

PHOTOfunSTUDIO 8.5 PE (Windows XP/Vista/7)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。

SILKYPIX Developer Studio (Windows XP/Vista/7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7/v10.8)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト
http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP/Vista/7)

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、かんたんに動画編集できるソフトウエアです。
- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
使い方 Web サイト:http://loilo.tv/product/20

■ ソフトウェアをインストールする

●CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 **お使いのパソコンの環境を確認する**

●**「PHOTOfunSTUDIO 8.5 PE」の動作環境**

対応OS	Windows® XP(32 bit) SP3 Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1	
CPU	Windows® XP	Pentium® Ⅲ 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® Ⅲ 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® Ⅲ 1 GHz以上
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

●「SILKYPIX Developer Studio 3.1 SE」の動作環境は、64 ページのサポートサイトをお読みください。

2 **CD-ROMを入れる**

●インストールメニューが起動します。

3 **[アプリケーション] をクリックする**

4 **[おまかせインストール] をクリックする**

●画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

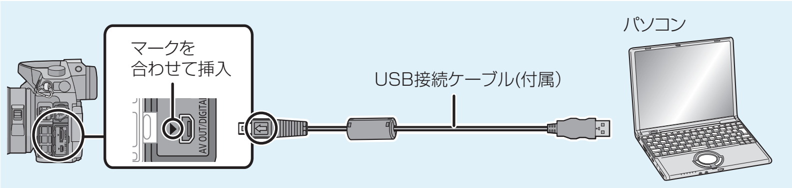
●お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
●Macでは、PHOTOfunSTUDIOは使えません。
●Macでは、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。
❶ CD-ROM を入れる
❷ CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
❸ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
❹ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

■ パソコンに画像を取り込む

準備：お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

1 USB接続ケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 本機のモニター面を表にしてください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ボタンで[PC]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード]を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。
- [USBモード]を[PictBridge（PTP）]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージを閉じ、安全に USB接続ケーブルを取り外し、[USBモード] を[PC]に設定し直してください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

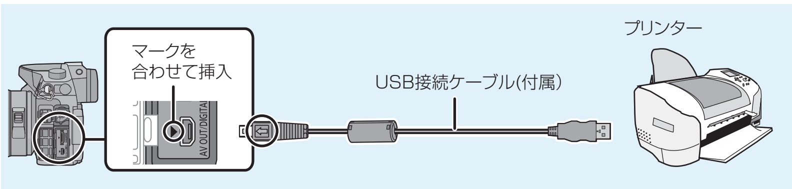
プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機のモニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
- グループ画像は一覧で表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備：本機とプリンターの電源を入れる。
　　あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB接続ケーブル（付属）で本機とプリンターをつなぐ

- 本機のモニター面を表にしてください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ボタンで[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 ◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

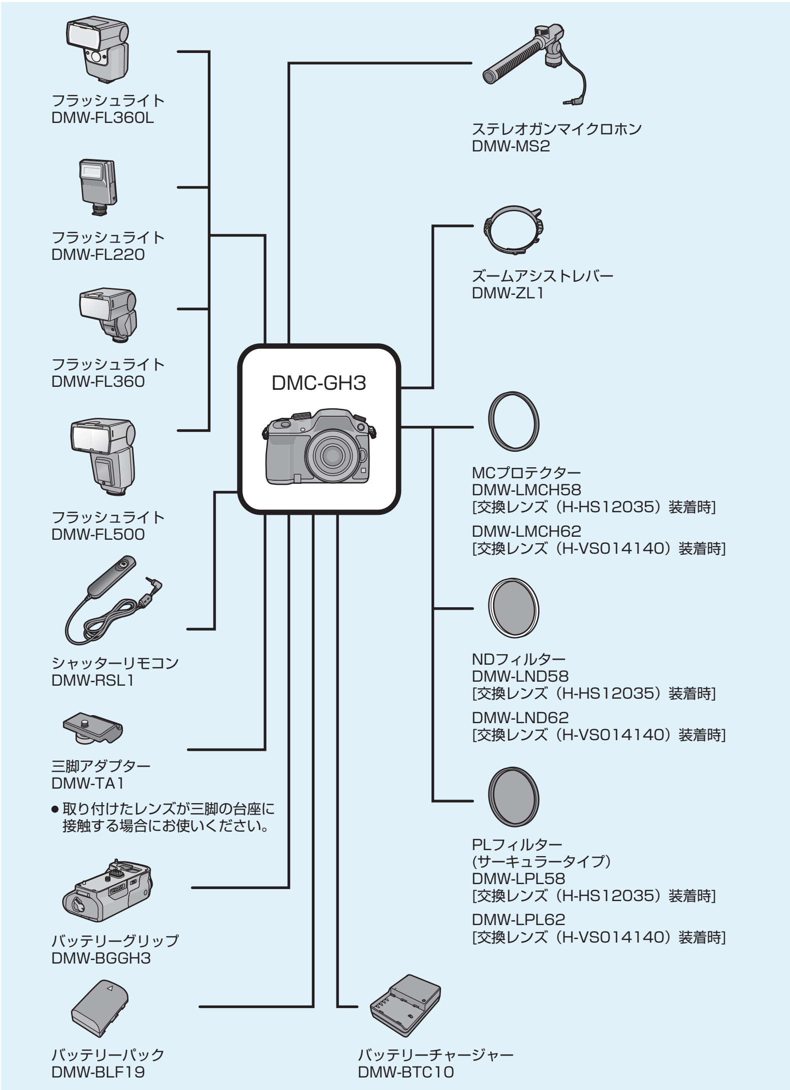
複数の画像を選んでプリントする

1 ▲ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

別売品のご紹介



フラッシュライト
DMW-FL360L
フラッシュライト
DMW-FL220
フラッシュライト
DMW-FL360
フラッシュライト
DMW-FL500
シャッターリモコン
DMW-RSL1
三脚アダプター
DMW-TA1
●取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。
バッテリーグリップ
DMW-BGGH3
バッテリーパック
DMW-BLF19
DMC-GH3
ステレオガンマイクロホン
DMW-MS2
ズームアシストレバー
DMW-ZL1
MCプロテクター
DMW-LMCH58
[交換レンズ（H-HS12035）装着時]
DMW-LMCH62
[交換レンズ（H-VS014140）装着時]
NDフィルター
DMW-LND58
[交換レンズ（H-HS12035）装着時]
DMW-LND62
[交換レンズ（H-VS014140）装着時]
PLフィルター
(サーキュラータイプ)
DMW-LPL58
[交換レンズ（H-HS12035）装着時]
DMW-LPL62
[交換レンズ（H-VS014140）装着時]
バッテリーチャージャー
DMW-BTC10

品名	品番
DCカプラー※1	DMW-DCC12
ACアダプター※1	DMW-AC8
レンズキャップ	DMW-LFC58※2、DMW-LFC62※3
レンズリアキャップ	DMW-LRC1
ボディキャップ	DMW-BDC1
本革バッグ	DMW-BAL1
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-CZ18
ショルダーストラップ	DMW-SSTL1、DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、 DMW-SSTG3、DMW-SSTG5
ロングショルダーストラップ※4	DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
AV ケーブル	DMW-AVC1
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15、RP-CDHM30
交換レンズ	･H-PS45175 ･H-PS14042 ･H-VS014140 ･H-HS35100 ･H-HS12035 ･H-FS45150 ･H-FS100300 ･H-FS045200 ･H-FS014045 ･H-F007014 ･H-F008 ･H-ES045 ･H-X025 ･H-H020 ･H-H014
3D交換レンズ	H-FT012
マウントアダプター	DMW-MA1（フォーサーズマウント用）
ライカレンズ用マウントアダプター	DMW-MA2M（ライカMマウント用） DMW-MA3R（ライカRマウント用）

※1　DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
※2　交換レンズ（H-HS12035）装着時
※3　交換レンズ（H-VS014140）装着時
※4　斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

- 別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

記載の品番は2012年10月現在のものです。変更されることがあります。

CLUB Panasonic
Pana Sense

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

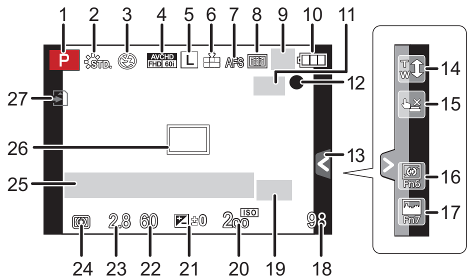
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

モニター/ファインダーの表示

モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。
● **画面はモニターで表示画面を[ ](モニタースタイル)に設定時の例です。**

プログラムAEモード[P]時

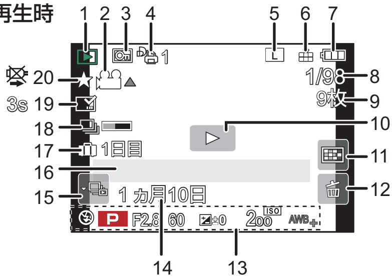


■ 撮影時

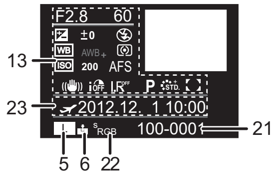
1 撮影モード
2 フォトスタイル
3 フラッシュモード
4 記録方式/画質設定
5 記録画素数
6 クオリティ
7 フォーカスモード
8 オートフォーカスモード
9 単写※1:
　連写:
　オートブラケット:
　セルフタイマー:
10 バッテリー残量
11 手ブレ補正※2:
　手ブレ警告:
12 記録動作(赤点滅)/ フォーカス(緑点灯)
13 タッチタブ※3
14 タッチズーム※3
15 タッチシャッター※3
16 Fn6(ファンクションボタン)※3
17 Fn7(ファンクションボタン)※3
18 記録可能枚数※4
19 EXテレコン(写真時)
20 ISO感度
21 露出補正値
　明るさ
　マニュアル露出アシスト
22 シャッタースピード
23 絞り値
24 測光モード
25 露出メーター
　焦点距離表示
　ステップズーム
26 AFエリア
27 カード(記録時のみ表示)
　記録経過時間: XXhXXmXXs ※5

※1 モニター撮影情報画面にのみ表示されます。
※2 手ブレ補正機能対応レンズ装着時のみ表示されます。
※3 モニターにのみ表示されます。
※4 カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。
※5 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。

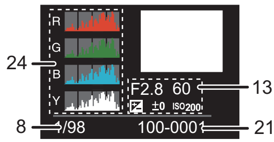
再生時



詳細情報表示



ヒストグラム表示



■ 再生時

1　再生モード
2　動画再生:
　連写グループ連続再生:
　インターバル撮影グループ連続再生:
3　プロテクト
4　プリント枚数
5　記録画素数
　記録方式/画質設定: AVCHD FHD 60i
6　クオリティ
7　バッテリー残量
8　画像番号/トータル枚数
9　連写枚数
　動画記録時間: XXhXXmXXs ※1
10　再生(動画･グループ画像)
11　マルチ再生
12　消去
13　撮影情報※2
　iDレンジコントロール:
　HDR:
　超解像:
　シェーディング補正:
14　月齢/年齢
15　連写グループ表示
　インターバル撮影グループ表示:
16　名前※3
　旅行先※3
　タイトル※3
17　トラベル経過日数
18　情報取得中アイコン
19　文字焼き込み済み表示
　再生経過時間: XXhXXmXXs ※1
20　お気に入り表示
　ケーブル切断禁止アイコン
21　フォルダー･ファイル番号※2
22　色空間※4
23　撮影日時/ワールドタイム
24　ヒストグラム

※1　h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。
※2　[AVCHD]で撮影した動画には表示されません。
※3　[タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。
※4　撮影した動画には表示されません。

メニュー一覧

撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。
記録画素数	記録画素数を設定します。
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。
連写速度	連写時の連写速度を設定します。（P40）
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。（P41）
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。（P41）
iD レンジコントロール	コントラストや露出を自動的に補正します。
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
多重露出	1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。
インターバル撮影	撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影することができます。
電子シャッター	電子シャッターを使用して、ブレを抑えた写真を撮影できます。
シャッターディレイ	手ブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。（P31）
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。
拡張 ISO 感度	ISO 感度が最小 [ISO125]、最大[ISO25600]まで設定できるようになります。
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。
シェーディング補正	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。
EX テレコン(写真)	記録画素数を[L] 以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。（P30）
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。（P30）

色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。

動画

記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
  – 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

記録方式	記録する動画のファイル形式を設定します。
画質設定	記録する動画の画質を設定します。
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。(P43)
スロー/ クイック効果	クリエイティブ動画モード時に、動画にスロー/クイック効果をかけます。(P43)
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。
タイムコード設定	タイムコードの設定を行います。(P45)
動画ハイライト表示	白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。
EX テレコン(動画)	望遠効果を高めます。(P30)
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。
タッチ静音操作	タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。
マイクレベル設定	音声入力のレベルを 19 段階に調整します。
専用マイク設定	ステレオガンマイクロホン(別売)接続時の収音方法を設定します。
ヘッドホン出力音	ヘッドホン(別売)接続時の音声出力方法を設定します。
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。

カスタム

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。（P29）
AF/AEロック切換	AF/AE ロック を行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。（P39）
AF/AEロック維持	ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK] のボタン動作を設定します。
シャッター半押しAF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。
シャッター半押しレリーズ	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てます。（P35）
クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。
アイセンサーAF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[⊞]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。
ダイレクトフォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。
フォーカス/レリーズ優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。
MFアシスト	MFアシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。
MFガイド	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。（P37）
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。
常時プレビュー（M モード）	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。

LVF表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を設定します。
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を表示します。
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。
ファンクション **Fn ボタン設定**	ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。(P17)
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。
ダイヤル設定	後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を変更します。
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。
パワーズームレンズ	パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。
アイセンサー	アイセンサーの有効、無効を設定します。また、アイセンサーの感度を設定します。(P15)
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。
メニューガイド	モードダイヤルを SCN / に切り換えたときに表示される画面を設定します。
レンズ無しレリーズ	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。

セットアップ

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。（P15）
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。
電子音	電子音や電子シャッター音の音量を設定します。
スピーカー音量	スピーカーの音量を7段階に調整します。
ヘッドホン音量	ヘッドホン（別売）接続時の音量を16段階に調整します。
モニター調整/LVF調整	モニター/ ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。
エコモード	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。
バッテリー使用順序	本機とバッテリーグリップのそれぞれにバッテリーを入れたときは、どちらのバッテリーから先に使うかを設定できます。
USBモード	USB接続ケーブル（付属）接続時の通信方式を設定します。
映像出力	テレビなどとの接続のしかたを設定します。
ビエラリンク	ビエラリンク対応機器と自動的に連動させます。
3D テレビ出力	3D画像の出力方法を設定します。
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。
メニューインフォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。
バージョン表示	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fi メニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く)
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。
フォーマット	カードをフォーマット（初期化）します。

▶ 再生

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2D/3D 切換	3D 画像の再生方法を切り換えます。
スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。
位置情報記録	スマートフォン/タブレットで取得した位置情報(緯度·経度)を本機に送信して、写真に位置情報を書き込むことができます。
タイトル入力	撮影した写真に文字(コメント)を入力します。
文字焼き込み	撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。
動画分割	撮影した動画を 2 つに分割します。
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。
画像回転	画像を手動で 90°ずつ回転させます。
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター（別売：DMW-AC8）、DCカプラー（別売：DMW-DCC12）を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。
本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

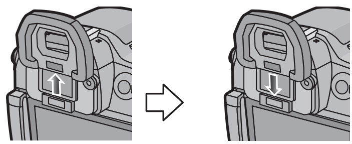
ダストリダクション機能について
本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング]を行ってください。

撮像素子のごみの除去
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

- ブロワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ファインダーのアイカップのお手入れについて

- アイカップが汚れた場合などお手入れの際は、アイカップを取り外し、乾いた柔らかい布で軽くふいてから取り付けてください。
- アイカップの紛失にお気をつけください。



バッテリーについて

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- APP Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。

- “Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance” の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1)パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3)OpenSSL Toolkit(http://www.openssl.org/)で利用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェア、および、Eric Young(eay@cryptsoft.com)によって作成されたソフトウェアを含む、オープンソースソフトウェア

上記(1)、(2)に分類されるソフトウェアについては、[MENU/SET] ボタンを押して [セットアップ] → [バージョン表示] を表示し、[MENU/SET] ボタンを押してご覧ください。
上記(3)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、「取扱説明書 詳細操作編」に記載の所定の条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製 HDMI ミニケーブル(別売:RP-CDHM15、RP-CDHM30)をお使いください。
- 当社製シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)をお使いください。
- ヘッドホンケーブルは 3 m 未満をご使用ください。
- シンクロケーブルは 3 m 未満をご使用ください。
- ケーブルは延長しないでください。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、付属のラベルに記載しています。

2.4DS/OF4

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-638
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

1 セットアップメニューの [Wi-Fi] を選ぶ

2 Wi-Fi メニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ

3 ▲/▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 8.4 V
消費電力	2.9 W（モニター撮影時）[交換レンズ(H-HS12035)装着時] 3.1 W（モニター撮影時）[交換レンズ(H-VS014140)装着時] 2.0 W（モニター再生時）[交換レンズ（H-HS12035）装着時] 2.3 W（モニター再生時）[交換レンズ（H-VS014140）装着時]

カメラ有効画素数	1605万画素
撮像素子	4/3型 Live MOSセンサー　総画素数1720 万画素、 原色カラーフィルター
デジタルズーム	最大4倍
EX テレコン	写真時：最大 2 倍(記録画素数 [S](4 M)、画像横縦比 [4:3] 選択時) 動画時：2.4 倍/3.6 倍/4.8 倍
フォーカス	オートフォーカス/ マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23点/1点 /ピンポイント（タッチフォーカスエリア選択可能）
シャッターシステム	フォーカルプレーンシャッター
連写撮影：連写速度 **連写コマ数**	20コマ/秒(超高速)、6コマ/秒(高速)、4コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速) 最大18コマ（RAWファイルあり） カードの空き容量に依存（RAWファイルなし）
ISO感度 **(標準出力感度)**	オート/インテリジェントISO/125※/200/400/800/1600/3200/6400/12800/25600※(1/3 EV ステップに変更可能) ※ [拡張ISO感度] を設定時のみ
最低被写体照度	約 6 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-HS12035）装着時] 約 12 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-VS014140）装着時]
シャッタースピード	B（バルブ）（最大約 60 分間）、60 ～ 1/4000秒 動画撮影中の写真記録 動画優先時：1/30 ～ 1/16000秒 写真優先時：B（バルブ）（最大約 60 分間）、60 ～ 1/4000秒
測光範囲	EV 0 ～ EV 18
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ ホワイトセット1/ホワイトセット2/ホワイトセット3/ ホワイトセット4/ 色温度設定
露出	プログラムAE（P）、絞り優先 AE（A）、シャッター優先 AE（S）、 マニュアル露出（M）、オート 露出補正（1/3 EVステップ、–5 EV～+5 EV）
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光

モニター	3.0 型有機ELモニター(3:2)(約61万ドット)(視野率約100%) タッチパネル
ファインダー	有機ELライブビューファインダー（16:9）（約174万ドット） （視野率約100%）（視度調整付き −4〜+4diopter）
フラッシュ	内蔵ポップアップ式　GN17.0相当（ISO200･m） [GN12.0相当（ISO100･m）] 撮影可能範囲：約30 cm〜約 17.1 m [交換レンズ（H-HS12035）装着、W端、[ISO AUTO]設定時] 撮影可能範囲：約50 cm〜約12.0 m [交換レンズ（H-VS014140）装着、W端、[ISO AUTO]設定時]
	オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/ スローシンクロ/赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
フラッシュ同調速度	1/160 秒以下
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード※/SDXCメモリーカード※ ※ UHS-I 対応
記録画素数 　**写真**	 画像横縦比[4:3]設定時 　4608×3456画素/3264×2448画素/2336×1752画素 画像横縦比[3:2]設定時 　4608×3072画素/3264×2176画素/2336×1560画素 画像横縦比[16:9]設定時 　4608×2592画素/3264×1840画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 　3456×3456画素/2448×2448画素/1744×1744画素
画質設定 　**動画**	 AVCHD 　1920×1080/60p (28 Mbps) 　1920×1080/60i (17 Mbps) 　1920×1080/60i ※ (24 Mbps) 　1920×1080/24p (24 Mbps) 　※イメージセンサーからの出力は 30 コマ/秒です MP4 　1920×1080/30p (20 Mbps) 　1280×720/30p (10 Mbps) 　640×480/30p (4 Mbps) MOV 　1920×1080/60p [50 Mbps (IPB)] 　1920×1080/30p [72 Mbps (ALL-Intra)] 　1920×1080/30p [50 Mbps (IPB)] 　1920×1080/24p [72 Mbps (ALL-Intra)] 　1920×1080/24p [50 Mbps (IPB)] 　1280×720/60p [72 Mbps (ALL-Intra)] スロー/ クイック動画時：1920×1080/24p [24 Mbps (IPB)]

クオリティ（圧縮率）	RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO＋ファイン/MPO＋スタンダード
記録画像ファイル形式 写真 動画	 RAW/JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF 対応）/MPO AVCHD Progressive/AVCHD/MP4/MOV
音声圧縮方式	AVCHD：Dolby® Digital（2ch） MP4：　AAC（2ch） MOV：　LPCM（非圧縮）
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	 USB 2.0（High Speed） NTSC コンポジット オーディオライン出力（モノラル）
端子 REMOTE AV OUT/DIGITAL HDMI MIC ヘッドホン フラッシュシンクロ	 Ø2.5 mm ジャック 専用ジャック（8pin） miniHDMI Cタイプ Ø3.5 mm ジャック Ø3.5 mm ジャック あり
寸法	約 幅 132.9 mm×高さ93.4 mm×奥行き 82.0 mm （突起部除く）
質量	約550 g（カード、バッテリー含む） 約470 g（本体） 約855 g［カード、交換レンズ（H-HS12035）、バッテリー含む］ 約1010 g［カード、交換レンズ（H-VS014140）、バッテリー含む］
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし（日本語のみ）
防塵防滴	あり

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数範囲 （中心周波数）	2412 MHz～2462 MHz（1～11ch）
暗号化方式	Wi-Fi 準拠　WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

専用バッテリーチャージャー: DMW-BTC10

定格入力	100 V— 240 V　50/60 Hz
入力容量	19 VA
定格出力	DC 8.4 V　0.65 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BLF19

電圧/ 容量	7.2 V/1860 mAh

交換レンズ	**H-HS12035 (LUMIX G X VARIO 12–35 mm/F2.8 ASPH./ POWER O.I.S.)**	**H-VS014140 (LUMIX G VARIO HD 14–140 mm/F4.0–5.8 ASPH./MEGA O.I.S.)**
焦点距離	f=12 mm ～ 35 mm（35 mm フィルムカメラ換算： 24 mm ～ 70 mm）	f=14 mm ～ 140 mm（35 mm フィルムカメラ換算： 28 mm ～ 280 mm）
絞り形式	7枚羽根　円形虹彩絞り	7枚羽根　円形虹彩絞り
開放絞り	F2.8	F4.0（W 端時）～ F5.8（T 端時）
最小絞り値	F22	F22
レンズ構成	9群　14枚（非球面レンズ4枚/UED レンズ 1枚/UHR レンズ 1枚）	13群　17枚（非球面レンズ4枚/EDレンズ2枚）
ナノサーフェスコーティング	あり	なし
撮影範囲	0.25 m～∞（撮像面から）	0.5 m ～∞（撮像面から）
最大撮影倍率	0.17×（35 mm フィルムカメラ換算：0.34×）	0.2×（35 mm フィルムカメラ換算：0.4×）
手ブレ補正	あり	
O.I.S.スイッチ	あり（ON/OFF 切り換え）	
マウント	マイクロフォーサーズマウント	
画角	84 °（W端時）～ 34°（T端時）	75 °（W端時）～ 8.8°（T端時）
フィルター径	58 mm	62 mm
最大径	約67.6 mm	約70 mm
全長	約73.8 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで）	約84 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで）
質量	約 305 g	約460 g
防塵防滴	あり	なし

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。	⚠ 気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

電源コードは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない
- 束ねたりしない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

⚠警告

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

接触禁止

雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

メモリーカード、接点カバー、ホットシューカバー、アイカップは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない

⚠警告

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

⚠注意

3Dの撮影について

3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ（別売：H-FT012）装着時の最短撮像距離は0.6 mです。

3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■ **近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する**

■ **3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する**

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	(　　)	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」(取扱説明書 詳細操作編)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	**デジタルカメラ/レンズキット/ボディ**
●品　番	□ DMC-GH3A □ DMC-GH3H □ DMC-GH3 お買い上げの品番に記入してください。
●故障の状況	**できるだけ具体的に**

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 **診断・修理・調整・点検などの費用**

部品代 **部品および補助材料代**

出張料 **技術者を派遣する費用**

※**補修用性能部品の保有期間** 8年

当社は、このデジタルカメラ/レンズキット/ボディの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電話　フリーダイヤル 携帯・PHS OK　**0120-878-638** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●宅配修理サービスのご案内（Web サイトからもお申し込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/ インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
（このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります）

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示･提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラ/レンズキット/ボディの点検を！**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
▼	
ご使用中止	故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
東北地区	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
首都圏地区	川 口	☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	秋葉原	☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル
	国分寺	☎(042)328-3211	国分寺市東戸倉2丁目38-1
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
中部地区	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
近畿地区	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	吹 田	☎(06)6338-1241	吹田市春日3丁目20-6
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0512

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■**宅配修理サービスのご案内**(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

●お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTime

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社

〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号